

オアシス通信



聖霊の圧倒的な臨在

エンパワード21



五月十一日(水)から十三日(金)までロンドンにおいて開催されたエンパワードヨーロッパ大会に、日本からの代表として加納久永牧師(名古屋グリーンキリストチャーチ)とともに参加しました。(小山大三牧師)

開催教会であるルーアク・シティー・チャーチに世界四十六カ国から約千五百人が集まりました。最初から最後まで聖霊様の圧倒的な臨在の中で始まり終わりました。講師は日本でもおなじみのニッキー・ガンベル師、クラウディオ・フレイソン師、マリリン・ヒッキー師、シンディ・ジェイユブ師など各大陸を代表する牧師たちが夜や午前の主要な集会、また午後の分科会で話されました。講師たちは一緒に、聖霊に満たされキリストを宣べ伝えることの重要性と次世代を勝ち取り、励まし、育成することの必要

横浜で単ペン大会



連休中の五月三日(火)〜五日(木)に、第五十三回TPKF単ペン大会が横浜市金沢区の研修センターで開催されました。テーマ聖句は、「五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。」(使徒の働き2・1)で、三回の聖会の講師はTPKF三役が担当し、小山大三牧師は四日の聖会で奉仕しました。

性を説かれました。また、癒しと奇跡の働きに期待すること、難民、移民への伝道を積極的に進めることの重要性が強調された大会となりました。ヨーロッパにやってくる多くのイスラム教徒たちがイエス・キリストを救い主として見出していること、特にドイツのピーター・ウエンズ牧師の教会では、毎週洗礼式が行われ、これまでに数百人が回心



ティーンズが卓球で交わり

5月22日にティーンズ&キッズ「卓球大会」を開催しました。初めて来てくれた近所の子供たちも4名あり、スタッフを含め約30名が参加しました。卓球台の移動や小学生との相手などをティーンズ(10代の中高生)自らが担当してくれました。奉仕して下さったティーンズ、青年、CSスタッフの皆様、心から感謝します! (小山健)

したことが報告されました。アルゼンチンのフレイソン師は、十三日の午前にエリヤの生涯に関連して、ご自分の体験を織り交ぜながら、飢饉(渴き)・火(試練と聖め)・大雨(聖霊の祝福)の順番の大切さを語られました。聖霊のご臨在が濃厚に現われ、参加者一同聖霊に満たされ、涙し、霊肉ともに癒される時となりました。

おふたりが召天

五月十三日(金)に、田村兄のお母様の田村京子姉(83)と大森チャーチの鈴木邦恵姉(75)が召天されました。お二人の葬儀は、ご遺族の意向で、十四日に小山健師の司式で家族葬で執り行われました。ご遺族の皆様の上に、イエス様の慰めがありますように!

聖霊の豊かな臨在の中で、多くの人が聖霊のバプテスマを受けました。岐阜純からは、美濃グレースチャーチの辛師家族を含めて十六名が参加しました。途中の車窓から富士山がはっきりと見え、行きも帰りも大した渋滞はなく、往復のドライブを楽しみむことができました。(牧師)